

箱根ヶ崎駅の利便性向上を



高水 永雄 議員（自民政心会）

町長 JRや関係機関に
要請していただく



増便が望まれるJR八高線

質問 平成17年3月に箱根ヶ崎橋上駅舎と東西自由通路が完成し、町の玄関としての姿が出来た。西口では駅西土地区画整理事業が進んでおり、東口も東京都により駅前広場や都道の拡幅整備が進んでいる。しかし、現状のままでは、若年層の定住化を望めず、生産年齢人口の増加も期待できず、人口減少に歯止めがかからないと思われ、箱根ヶ崎駅の利便性向上を図る必要があると思われ、町長の所見を伺う。

町長 八高線については、議会と共にJRに要望を繰り返し、増便と東京駅直行便の実現を果たした。また、駅へのアクセスの改善のため、都による東口整備と町による西口整備についても早期完成を目指している。

中央線の複々線化については、他自治体とも協力し、JRや関係機関に要請していく。また、箱根ヶ崎駅と結ばれる予定の多摩都市モノレール延伸についても、近隣市と連携し行動していく。

どうなる改定介護保険制度について

大坪 国広 議員（日本共産党）

町長 国の動向を注視していく



地域包括支援センター窓口相談の様子

質問 第5期介護保険制度は、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現にむけて現在、専門分科会で検討されている。そこで、次の3点について町長の所見を伺う。

問① 法改正で保険制度がどのように変わるのか。また、日常生活支援総合事業のメリツトは。

町長 今回の法改正は、保険・医療・リハビリと在宅ケアを一体的に運用する、地域包括ケアシステムを目指す。予防・見守り支援サービスが保険対象となるが、利用者の保険料負担や公的負担が増大することが見込まれる。

問② 専門分科会で検討されている生活支援サービスの現状と今後の対応について。

町長 実態調査では、満足度が不満度を大きく上回っている。今後、利用が少なく効果が低い事業の改善または廃止や新たな事業の構築に取り組む。

問③ 保険料、サービス利用料はどうなるのか。

町長 国の審査が終わっていないため、示せる状況ではない。動向を注視していく。

「幅広く多くの人に利用される郷土資料館」の建設を

小川 龍美 議員（公明党）

教育長 見て・触れて・体験する工夫に満ちた
楽しい空間を演出する



体験できる「かまど」（他自治体）

質問 町では今年度、郷土資料館整備のため用地取得や基本設計などの予算が計上され、現在、建設に向けた準備が進んでいる。町民の方たちも関心を持ち、進捗状況を注視している。郷土資料館は全国に数多くあるが、一般的には文化財を保存・展示し、後世に継承することを目的としており、住民が何度も訪れる施設は数少ない。町は、幅広く多くの人に親しまれ、利用される郷土資料館の建設を目指すべきと考えるが、教育長の所見を伺う。

教育長 町では今年度、郷土資料館整備のため用地取得や基本設計などの予算が計上され、現在、建設に向けた準備が進んでいる。町民の方たちも関心を持ち、進捗状況を注視している。郷土資料館は全国に数多くあるが、一般的には文化財を保存・展示し、後世に継承することを目的としており、住民が何度も訪れる施設は数少ない。町は、幅広く多くの人に親しまれ、利用される郷土資料館の建設を目指すべきと考えるが、教育長の所見を伺う。

教育長 新たな郷土資料館は、約1700㎡の限られた空間である。来館者が、見て・触れて・体験する、工夫に満ちた楽しい空間を演出することを計画したい。また、園児・小学生・中学生も郷土資料館を教材として利用できるよう、学校教育とも連携して活用を図りたい。

狭山池上流部の整備計画とも連携し、他地域からの来訪者が足を運びたくなる施設を目指し、準備を進めていきたい。

こんな質問もありました
「24時間健康・医療電話相談」の導入を。

町長 町民に新たな負担を求めなければならず、実施は困難。

新郷土資料館の在り方について



小野 芳久 議員

教育長 町の魅力をさらに
発信したい



新郷土資料館建設予定地

質問 新たな郷土資料館は、隣接する耕心館と調和した施設となるよう、設計が進められている。また、（仮称）水・緑と観光を繋ぐ回廊計画において関連施設とされている。有識者等で構成される郷土資料館の在り方研究会や、職員による検討委員会では、内容がより具体的に検討されたところ。そこで、教育長に伺う。

問① 研究会や、検討委員会の内容は。

教育長 研究会ではこれまでの郷土資料館の利用状況や課題を確認し、新たな郷土資料館の構想を検討した。委員会では整備に向けての課題の整理、情報の収集に当たっている。

問② 長期的具体的コ

教育長 物に触れることができ、新たな発見に満ち、多くの方が何度も行ってみたくなる楽しさを演出した魅力あるものになりたい。

問③ 町民の来場だけではなく、観光資源としての集客方法は。

教育長 耕心館などの歴史のある施設や、狭山丘陵などの地域資源とつながりを持たせた運営が観光資源ともなる。町の魅力をさらに発信できるものと考え